

視点1 新体力テスト調査結果等の分析

- 25年度から28年度にかけて全国平均より低い学年の種目が減少し、どの種目の記録も全学年少しずつ向上している。
- 握力、50m走、シャトルランに関しては、全国平均を上回る学年がほとんどである。しかし、上体起こし、長座体前屈では全国平均より低い学年が多い。

視点2 目標指標・共通目標の設定

- (1) 体力向上に係る授業改善に関する学校共通目標
 - 体育学習において体を動かす時間を70%以上とする。
- (2) 体力・運動能力、運動習慣等に関する目標指標
 - 天気のよい休み時間に運動場で遊ぶ児童を90%以上にする。
- (3) 体力アップシートの活用率の目標指標
 - 全学年、全児童、100%体力アップシートを活用する。
- (4) 「スポコン広場」チャレンジランキングゾーン登録学級数の目標指標【小学校のみ】
 - 全学級6種目以上の登録を目指す。（「馬跳び・ドッジボールラリー・縄跳び」を重点種目とする）

視点3 評価方法

- 体育授業における教師・児童アンケートによる評価。
- スポコン広場チャレンジランキングの更新状況による評価。
- 休み時間の運動遊びの児童アンケートによる評価。

視点4 「1校1取組」運動名

「かかがやけ筑南っ子 体力アップ マイチャレンジ」

視点5 本年度の「1校1取組」運動の設定

- 体力向上チャレンジカードを活かし、主体的に様々な運動に挑戦させる。
【個人の取り組み】
 - ・一輪車 ・登り棒 ・雲梯 ・縄跳び ・鉄棒 ・水泳 ・持久走
 - ・毎週金曜日昼休みを「チャレンジスポーツ」の時間とし、体育委員会を活用して体力チャレンジの検定を行う。
- 【学級の取り組み】
 - ・スポコン広場に全学級6種目以上登録する。
 - ・「みんなで馬跳び・みんなでドッジボールラリー・みんなで縄跳び」は定期的に記録を更新する。
- 【全校の取り組み】
 - ・火曜日と木曜日の業間休みに季節に応じた運動を全校で行う。
 - 4～5月「行進」 6～7月「ドッジボールラリー」 9～10月「馬跳び」 11～12月「持久走」
 - 1～3月「縄跳び」

視点6 本年度の体力テスト結果を踏まえた取組

視点2 目標指標・共通目標の設定

(1) 体力・運動能力または運動習慣に関する目標指標

- 天気のよい休み時間に運動場で遊ぶ児童を90%以上にする。

【評価】 児童アンケート「天気のよい休み時間には外で遊ぶことができましたか」の問いに対して、90%以上の児童が「よくできた」「だいたいできた」と回答している。

(2) 体力向上に係る授業改善に関する学校共通目標

- 体育学習において体を動かす時間を70%以上とする。

【評価】 教師アンケート「体育学習において運動量を確保することができましたか」の問いに対して、全学級「確保することができた」と回答している。

(3) 体力アップシートの活用率の目標指標

- 全学年、全児童、体力アップシートを活用し、運動に取り組ませる。

【評価】 全学年、全児童、体力アップシートを活用し、業間運動に取り組むことができた。

(4) 「スポコン広場」チャレンジランキングゾーン登録学級数の目標指標【小学校のみ】

- 全学年「スポコン広場」に挑戦し、チャレンジランキングに登録する。

【評価】 全学級「スポコン広場」チャレンジランキングに登録することができた。

視点4 「1校1取組」運動名

「かがやけ筑南っ子 体力向上マイチャレンジ」

視点5 本年度の「1校1取組」運動の設定

- 体力向上チャレンジカードを活かし、主体的に様々な運動に挑戦させる。

【個人の取り組み】

- ・一輪車 ・登り棒 ・雲梯 ・縄跳び ・鉄棒 ・水泳 ・持久走
- ・毎週金曜日昼休みに、体育委員会を活用して体力チャレンジの検定を行う。

【学級の取り組み】

- ・スポコン広場種目 「馬跳び」「ドッジボールラリー」「縄跳び」に挑戦する。

【全校の取り組み】

- ・火曜日と木曜日の業間休みに季節に応じた運動を全校で行う。
4～5月「行進」6～7月「ドッジボールラリー」9～10月「馬跳び」
11～12月「持久走」1～3月「縄跳び」

【成果と課題】

- ドッジボールラリー・馬跳び・縄跳び等に学級で取り組んだことで、意欲だけでなく技能も高まり、スポコン広場県大会に4年生と5年生が出場することができた。
- スポコン広場への挑戦など学校として取り組むことができたが、運動に対する意欲の個人差がある。運動嫌いな児童に対する意欲付けをどう図るか課題である。

視点6 本年度の体力テスト結果を踏まえた取組

- 握力、50m走、シャトルランに関しては、全国平均を上回る学年がほとんどである。しかし、上体起こし、長座体前屈では全国平均より低い学年が多い。
- 体力チャレンジ検定の継続実施と体育学習の準備運動に柔軟性を育てるストレッチ体操を取り入れる。

※視点2・4・5・6のすべてについて、必ず明記してください。なお、各学校で創意工夫された類似の様式（字体や文字の大きさ規定いたしません）も可とします。